

歌壇

櫻井 登世子 選

特選

古書売りて古書を購ふ古老あり神保町は古き良き町

春日 二村 吉光

雨の日は物に名を付け遊ぶかな目薬露子、カバンの伴さん

向 丘 三宅 あき子

いただきしトマトの苗を育てきて青い実数え収穫を待つ

本駒込 鈴木 たまき

入選

若かき日に母御ははに習らひし盆のお膳齡を重ねて簡素になりぬ

西 片 松林 利枝

今年また茅花つばなの揺るる季節来て春日通りの風の賑はし

小石川 白鳥 茂子

轟轟ごうごうと飛ぶB29見上げてた空襲の夜の疎開地において

向 丘 高野 伸子

病床の吾われを励ます森の木々みどり輝やく窓の向うに

大 塚 加藤 喜雄

陵線の天に透すして視る樹々は尾根縦走の隊列に見ゆ

小石川 荻原 和夫

祖父が舟曳きし入江は草高く潮流変わり渚も消えぬ

千駄木 伊藤 恵津子

水無月の曇天続き雨天有り晴れの日の青天恋し

千 石 三浦 正雄

俳壇

松澤 雅世 選

特選

紫陽花のいつしか君の色となり
あじさい

千駄木 山田 経子

我が顔の羅漢捜して青の風

関口 島 澄枝

道草の匂ひ濃くなる薄暑かな

春日 岡田 政己

入選

晨風や部屋を貫き御挨拶
しんぷう

小石川 泉谷 知輝

初蟬や忍忍忍と名乗りあぐ

千石 菊地 正矩

念力はただひたすらに雲の峰

根津 小林 暢夫

山百合の和敬清寂あまたなり

西片 中島 多津子

白南風や自転車と行く坂の町
しろはえ

小石川 中野 千鶴子

ひとり居の老の清らや吊忍

千駄木 谷田貝 ちい子

若さとは恐れを知らず水中花

湯島 山添 昭子